

2025 年 7 月 18 日

株式会社タダノ

タダノ志度工場で年間 889 トンの CO2 を削減 県下最大規模 1.5 メガワット超の太陽光発電設備が運転開始

株式会社タダノ（本社：香川県高松市、代表取締役社長：氏家 俊明）は、工場屋根設置としては香川県下最大規模（当社調べ）となる最大出力 1593kW の太陽光発電設備を志度工場(香川県さぬき市)に導入し、2025 年 7 月 18 日に運転を開始しました。



志度工場では 2008 年に 260kW の太陽光発電設備を設置していましたが、脱炭素社会の実現をより加速すべく、このたび 1593kW の太陽光発電設備を追加搭載しました。

対象となる工場屋根の敷設面積は約 15,000 m² で「一般的な 25m プール 62 個分の広さ」と同じです。初年度の総発電量は約 197 万 kWh を見込んでいますが、これは「一般的な 4 人家族・約 440 世帯の年間消費電力を賄うことができる発電量」となります。

また、この発電によって年間およそ 889 トンの CO2 削減を想定していますが。これは「スギの木 63,500 本が 1 年間に吸収できる CO2 の量に相当」します。

同太陽光設備は「みずほ丸紅リース」様との PPA（電力購入契約）にもとづいて設置されます。同契約では土日祝日等の「工場非稼働日」に発生する余剰電力については、系列の電力会社を通じて CO2 フリー電力として外部提供され、地域の CO2 削減にも貢献します。

また「工場稼働日」に太陽光発電を自家消費することで、日本国内の工場含む全拠点の CO2 排出量を 3.8%削減する効果が得られる見込みです。（初年度の自家消費による CO2 削減量：721 トン／2024 年度のタダノグループ日本国内 CO2 排出量：19,008 トン）

当社は「Reaching new heights」をスローガンに業界のリーディングカンパニーとして、お客様の安全と地球環境に配慮した新たな価値を提供するための戦略を推進しています。
CO2 排出については「2050 年カーボンネットゼロ」を目指し、長期環境目標として「2030 年までに事業活動による CO2 排出を 25%削減、製品による CO2 排出を 35%削減（いずれも 2019 年度比）」を設定し、削減に取り組んでいます。

2023 年 12 月には、世界初となる「電動ラフテレーンクレーン」を日本で発売。2024 年 11 月にはアメリカ・カナダ向けに第 2 弾となる EVOLT eGR-1000XLL-1 を発売しました。いずれも電気の力でクレーンの作業と走行の両方を行うことができ、製品からの CO2 排出量をゼロにすることができる画期的な製品です。

タダノグループは引き続き「Tadano Green Solutions」として環境対応製品の拡充などに取り組むと共に、地球環境の保全と持続可能な社会の実現に貢献し、世界にそして未来に誇れる企業を目指します。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社タダノ 総務部サステナビリティ推進 G TEL：087-839-5601

以上